

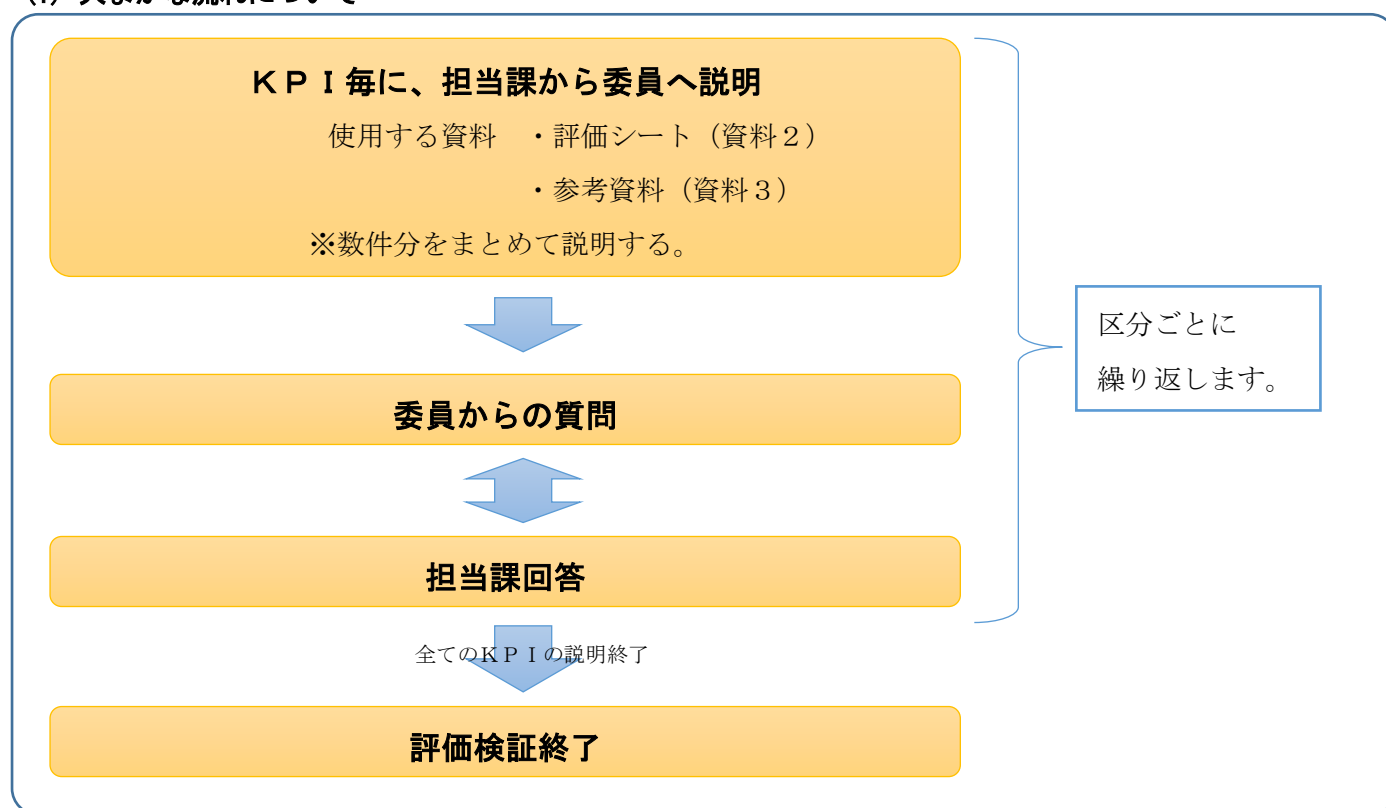
評価検証の進め方について

1. 会議の開催日及び評価項目について

開催日	評価項目
令和2年7月 8日（水）	・基本目標1及び2について
令和2年7月15日（水）	・基本目標3及び4について ・地方創生関係交付金活用事業について ・地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業について

2. 評価検証の進め方について

(1) 大まかな流れについて



(2) 担当課からの説明について

会議を効率的に進行させるため、担当課からは要点のみの説明となりますので御了承願います。

- ・評価シート（資料2）の説明事項
 - ① ページ番号及び重要業績評価指標（KPI）
 - ② 令和元年度実績・KPI達成率
 - ③ 担当課評価、令和元年度の事業内容・工夫等
 - ④ 令和2年度の改善・工夫等

3. KPIの評価検証方法について

担当課評価及び委員評価の基準については、次のとおりとなります。

(1) 担当課評価について

担当課評価		
A	順調	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。
B	概ね順調	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C	やや遅れている	目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D	遅れている	目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

※なお、A～Dの基準は必ずしも当てはまるものではなく、理由があり、担当課において評価を変更している場合は、評価シート中にその理由を記載しております。

※担当課評価（A～D）は令和元年度1年間の評価を記載しておりますが、KPI達成率欄（%）には最終目標に対する達成率を記載しておりますので御注意願います。

(2) 委員評価について

改善案を示した形で評価を行うため、事業実績や改善案について、それぞれ三段階評価（◎、○、×）を行い、それぞれの評価から総合評価を算出します。なお、事業が目標以上となっており、改善案がない事業については、効果をより一層高めるための工夫点を担当課が記載しております。

三段階評価の基準は次のとおりとなりますので、◎、○、×の三段階で評価してください。

【評価基準】

評価	事業実績	改善案・工夫点
◎	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。	改善案もしくは工夫点について非常に評価できる。
○	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。	改善案もしくは工夫点について評価できる。
×	目標を下回っており、要因の分析と事業内容の見直しを要する。	改善案もしくは工夫点について見直すべきである。

（参考）総合評価の算出方法は次のとおりとなります。

※委員の三段階評価（◎、○、×）をとりまとめ、事務局で総合評価（A～D）を算出します。

【総合評価算出表】

事業実績／改善案	◎	○	×
◎	A	A	B
○	A	B	C
×	B	C	D

(3) 委員評価シートについて

委員評価には委員評価シート（資料4）を使用いたします。各K P I の右に評価欄を設けておりますので、前述のとおり、◎、○、×の三段階で評価してください。

【評価シート記載例】

NO.	目標	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度	H28目標	H28実績	担当課及び評価	委員評価		
								事業評価	改善点 工夫点	
1	(ア)居住環境の整備	①被災者の居住環境の整備	新市街地整備事業完成率	100%	92.5%	92.5%	区画整理第1課	A	◎	×
2			防災集団移転促進事業完成率	100%	92.5%	83.1%	集団移転推進課	B		
3			土地区画整理事業完成率 既成市街地 住居系	100%	88.4%	67.6%	区画整理第2課	C		
4			復興公営住宅完成率	100%	84.4%	78.1%	復興住宅課	B		
5			市街地再開発事業完成率	100%	100%	100%	市街地再開発整備課	A		

それぞれ評価（◎、○、×）を記載



記載例の場合、事業評価：◎ 改善点・工夫点：×
の組み合わせなので、総合評価はBとなります。

(4) 委員からの質問等について

時間の都合等により、会議中に質問をできなかった事項があった場合は、委員意見記載シート（資料5）に御記入いただき、後日御提出ください。

(5) 提出資料及び提出期限について

①委員より御提出いただく資料

- ・委員評価シート（資料4） ※7月8日及び15日使用
- ・委員意見記載シート（資料5） ※7月8日及び15日使用
- ・地方創生関係交付金等 委員評価シート（資料9） ※7月15日使用

②提出期限

令和2年7月27日（月）